



この会は、1983年に約30名の女性土木技術者によって
非営利の独立した団体として
設立されました。

土木界ではたらく女性技術者の
キャリア継続にむけた環境づくりのために、
ひたむきに努力してまいりました。

設立以来、任意団体として活動してきましたが、

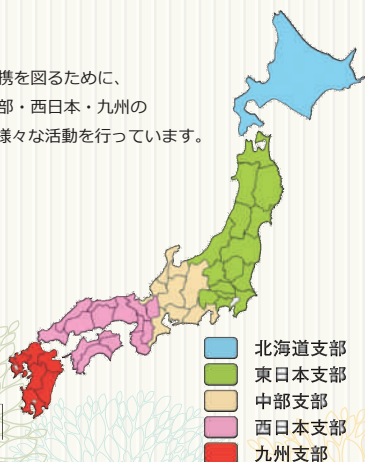
2013年11月18日（土木の日）に
一般社団法人 土木技術者女性の会として
新たに発足しました。

現在、約400名の会員が在籍しています。

これからも、土木のあらゆる分野で
活躍する女性技術者を支えるとともに、
次世代を担う人材の育成に
力を注いでまいります。

全国ネットワーク

会員相互の交流と連携を図るために、
北海道・東日本・中部・西日本・九州の
5支部に分かれて、様々な活動を行っています。



どぼく未来宣言

土木は、人々の命と暮らしを守り、真の幸福をもたらすという重大な使命を担っています。

わたしたち土木技術者は、常に自然災害の脅威に対して真摯に向き合い、それぞれの地域特性と社会特性に適合した自然と人間の共存のあり方を工夫し、自ら技術と人間性の研鑽に励むと共に、これを次世代に伝える努力を続けます。

2012年6月22日
土木技術者女性の会

※どぼく未来宣言は、2012年に開催された土木技術者女性の会
設立30周年記念行事において宣言されたものです。

内閣府「平成26年度女性のチャレンジ賞」受賞

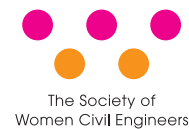
本賞は、多くの国民が個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、チャレンジすることで輝いている女性個人、女性団体・グループ及びそのようなチャレンジを支援する団体・グループ等を顕彰するものです。2014年6月27日に受賞しました。



一般社団法人 **土木技術者女性の会**
The Society of Women Civil Engineers



URL: www.womencivilengineers.com
E-mail: infoswce@womencivilengineers.com



The Society of
Women Civil Engineers

一般社団法人

土木技術者女性の会



The Society of Women Civil Engineers





一般社団法人 土木技術者女性の会
第7代会長

山 育子

かつて土木界で働く女性は非常に稀な存在でしたが、令和を迎えた今、この世界で働く女性が増えてきています。しかしながら、まだまだ個々の職場・現場で働く女性は少数派であることは否めません。社会的インフラを整備・維持していくのが土木の仕事ですが、それを使う人たちは男女ともほぼ同数です。インフラを利用する誰にとっても、使いやすいモノづくりを行う土木界であってほしい。そのためには、作り手だけがどちらか一方の性に偏ることなく、ぜひ多くの女性に土木の世界で働くことを目指してほしいと思います。女性のみならず、土木技術者として働く人を取り巻く環境が少しでも良くなるよう、貢献できればと思っています。

BACK IN 1982...

土木技術者女性の会の設立のきっかけは、1982年に開催された土木学会誌のための座談会でした。集まった5名の女性土木技術者は自分以外の女性技術者に出会えたことを喜び、意気投合し、さらにおよそ30名の仲間を探し出して、1983年に土木技術者女性の会を設立したのです。

土木学会誌の座談会に出席した女性技術者



天野玲子氏



寺本和子氏



正木啓子氏

「座談会・女性土木技術者おおいに語る」(土木学会誌 1982年9月号, pp.41-48)より、土木学会の許可を得て転載。

一般社団法人 土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers

土木技術者女性の会は、女性技術者の質の向上と活動しやすい環境作りのために、次の5つの目標を掲げています。

- 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
- 土木界で働く女性技術者の知識向上
- 女性にとって魅力のある、働きやすい土木界の環境作り
- 女性土木技術者の社会的評価の向上
- 土木技術者を目指す女性へのアドバイス

会の活動

土木技術者女性の会は、総会(年1回)や見学会、セミナー、勉強会などの支部活動を開催しています。これまでに道路や地下通路、風力発電施設、ダムといった建設現場などの見学会を実施しました。最近では土木学会や官公庁、大学、高等専門学校との連携により、女子学生を対象としたキャリアセミナーを開催し、好評をいただいています。

また、会員からの相談に応え、労働基準法に残っていた女性の坑内労働禁止の規制緩和に取り組み、2007年改正労働基準法において就労制限の範囲が大幅に緩和され、「技術上の管理および指導の業務」が行えるようになりました。



会からの発信

会誌「輪」(りん)は、会の設立当初より発行されている会誌です。現在は年2回、電子版が発行されています。会の活動の報告、会員による寄稿などから構成されており、身近に仲間やロールモデルのいないことが多い女性土木技術者の貴重な情報源となっています。

「Civil Engineer への扉」は、土木技術者を目指す女性にとって就職活動の参考となるように出版した冊子です。14名の会員が、土木技術者としての働き方や未来の土木技術者に向けたメッセージを紹介しています。これまでに、1999年版、2006年版、2017年版を発行しています。2017年版については、当会のウェブサイトから電子ブックでもご覧いただけます。



「Civil Engineer への扉」
2017年版は土木広報大賞 2018審査員賞を受賞



会誌「輪」

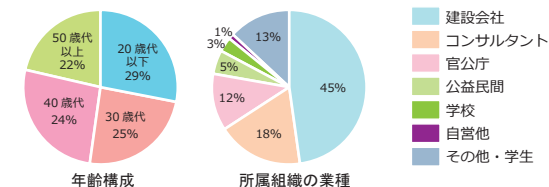
連絡先：土木技術者女性の会事務局
infoswce@womencivilengineers.com

会員の構成

1983(昭和58)年1月に約30名で発足した土木技術者女性の会は、現在では、国内外に約400名の会員がおり、他の機関と連携しつつ多様な活動を進めています。会員は30歳代以下の若い世代が半数以上と増えており、建設会社、コンサルタント、官公庁や大学などの教育・研究機関に所属する他、フリーランスとしても活躍しています。また技術士、測量士、1級土木施工管理技士などの資格取得者も多く在籍しています。

2009年に学生会員の制度を創設し、学生の参加を歓迎しています。また、2016年には、サポーター制度も拡充し、約200名のサポーターの支援をいただいております。

※サポーターは、当会の活動を支援する個人および団体が対象です。



2020年3月現在